

令和8年建設業死亡災害発生状況

令和8年2月28日（暫定値）
静岡労働局

1. 月別発生状況

月	建設業					全産業					建設業が全産業に占める割合
	8年		7年		増減	8年		7年		増減	
	人数	累計	人数	累計		人数	累計	人数	累計		
1	1	1			1	4	4	3	3	1	25.0
2	1	2	1	1	1	3	7	1	4	3	28.6
3			2	3				4	8		
4			1	4				1	9		
5				4				1	10		
6			1	5				2	12		
7				5				2	14		
8				5					14		
9			1	6				2	16		
10				6					16		
11				6				1	17		
12				6					17		

* 建設業・全産業の7年の件数・累計は、各月末日の件数
* 増減は、右上の現在の日における前年との差を表示している

2. 事故の型・起因物別発生状況

型	転墜	転倒	巻き込まれ	倒崩	感電	交通事故	落飛	激突	破爆	その他	計	比率
起因物	落落	倒	まれ	壊壊	電	事故	下来	され	裂発	他		
仮設物建設物等				1							1	50.0
動力運搬												
建設用機械等												
乗物												
ガス等有害物												
用具												
電気設備												
クレーン												
地山												
荷												
その他								1			1	50.0
計				1				1			2	100.0
比				50.0				50.0			100.0	

3. 工事の種類別発生状況

工事の種類	人数	比率
鉄筋・鉄骨コンクリート		
木造建築工事	1	50.0
その他の建築工事		
小計	1	50.0
上下水道工事		
道路建設工事		
その他の土木工事	1	50.0
小計	1	50.0
その他の建設工		
合計	2	100.0

4. 発注者別・工事の種類別等発生状況

区分	工事の種類	人数	比率	
発注者	国	土木工事		
		建築工事		
		その他の工		
	県	土木工事		
		建築工事		
		その他の工		
	市町	土木工事		
		建築工事		
		その他の工		
	独立行政法人、特殊会社等	土木工事		
		建築工事		
		その他の工		
民間	土木工事	1	2 100.0	
	建築工事	1		
	その他の工			
その他				
計		2	100.0	

* 「その他」は、発注とは関係しない業務における災害

5. 現場規模による区分

規模	人数	比率
1～9	2	100.0
10～19		
20～29		
30～39		
40～49		
50～		
計	2	100.0

* 「4」の表の「その他」は、計上していない

6. 年齢別による区分

年齢	人数	比率
20歳未満		
20～29		
30～39		
40～49		
50歳未満計		
50～59	2	100.0
60歳以上		
50歳以上計	2	100.0
計	2	100.0

7. 署別発生状況

	三島	沼津	富士	静岡	島田	磐田	浜松	計
当年				1	1			2
前年		1						1
増減		-1		1	1			1
昨年間	1	3			1		1	6

* 「前年」は「当年」と同時期、「昨年間」は前年1年間の状況